



予防接種法に基づく予防接種の一覧とスケジュール例（出生後～7歳6か月まで）



ワクチン名		接種回数	1か月	出生6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	1歳	1歳半	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	7歳半	
不活化	小児用肺炎球菌 ※1	4回			↓	↓	↓						↓									
不活化	B型肝炎 ※2	3回		↓	↓			↓														
生	ロタウイルス ※3	ロタリックス			↓	↓																
		ロタテック	3回			↓	↓	↓														
不活化	5種混合 (DPT-IPV-Hib)	4回			↓	↓	↓						↓									【DT第2期】1回接種 11歳以上13歳未満
生	BCG	1回						↓														
生	MR混合 (麻しん風しん)	2回											↓									【第2期】 小学校就学前の1年間（年長児）
生	水痘	2回											↓	↓								
不活化	日本脳炎	3回																				【第2期】1回接種 9歳以上13歳未

無料で接種できる年齢
 標準的な接種年齢
 接種

【注射生ワクチン】
 次の注射生ワクチンの接種は4週間後の同曜日から可能です。

☆複数のワクチンを同時に接種する「同時接種」は医師が必要と認めた場合に行うことができます。



※1 小児用肺炎球菌は、標準的な接種年齢(月齢)以外で接種を開始する場合、接種間隔・回数が異なりますので、地域保健課にお問い合わせください。

※2 HBs抗原陽性の妊婦から生まれた乳児として、健康保険の給付によりB型肝炎ワクチンの投与を受けた方は、定期予防接種の対象者にはなりません。

※3 初回接種は、14週6日までに受けてください。また、腸重積症の既往のある方、未治療の先天性消化管障害を有する方、重症複合型免疫不全を有する方は、定期予防接種の対象者にはなりません。

【参考：7歳6か月以降の予防接種】 ☆9歳：日本脳炎（2期・1回） ☆11歳：シフトリヤ破傷風菌（DT混合2期・1回） ☆中1女子：ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防・3回）